

本会議 一般質問 (6/10) 要旨

1 (仮称) 北上野二丁目福祉施設整備に向けた子ども・子育て支援充実のための情報連携の強化について

3歳の女の子が、数日間自宅に置き去りにされ餓死してしまうという、大変痛ましい事件が令和2年に大田区で起こってしまった。大田区では再発防止に向けて、多角的な視点から行政支援等の潜在リスクを可視化し、関係各課が共通認識を持って関与することで、切れ目ない支援を実現するため、子ども・子育てに係る必要項目を集約したシステムを構築し、運用している。

要保護児童について、現在台東区では、子育て世帯と一番接点を持っているはずの保健サービス課と関係部署が、対面の会議や電話、紙資料で情報連携を行っているが、更なる情報連携の強化が必要ではないか。

また、児童発達支援についても、発見の精度や相談体制の質の向上に向けて、関係部署との情報連携の強化は必要であり。教育支援館や学校・保育施設ともシステムを連携することで、早期に適切な支援につなげていくことが可能となるはず。

国は、「子ども家庭庁」を来年4月に創設することとし、子育て支援事業の一体的運営を求めている。また、デジタル庁は、教育・保育・福祉・医療等のデータを分野を越えて連携させ、支援が必要な子どもや家庭に対するニーズに応じたプッシュ型の支援に活用する際の課題等を検証する実証事業を行う。今後、国も本腰を入れて、子どもや子育て世帯への支援充実のためのシステム連携の推進を図っていく。

区では、子ども・若者総合支援施設として、(仮称)北上野二丁目福祉施設の整備を計画しているが、より効果的・効率的に施設を活用するために、関係部署間での迅速な情報共有及び支援体制の構築に向けて、更なる情報連携の強化を行うべきではないか。

データの連携は、対象部署や必要項目、個人情報保護、アクセス権限、システム構築と検討課題は多数あり、検討期間もかなり必要。新施設開設に向けて、子どもや子育て世帯支援充実のためのシステム連携の強化に向けた検討を早急を実施すべき、と提案。

区長から「個々に応じた支援を継続して、的確に実施していくためには、情報連携の強化が必要であり、相談内容の共有が重要な課題。システム連携の推進については、関係部署間のデータ連携に関する課題の把握と整理を早急に進めていく」との答弁。

2 待機児童解消に向けた放課後対策の充実について

「保活」という言葉が生まれるほど、保育施設整備は喫緊の最重要課題となっていたが、平成28年に240人だった待機児童数は、昨年度15人まで減少。定員に満たない園も増えてきている。保育の重点施策は、「量の整備」から「質の整備」へと、新たなフェーズに向けた転換が求められている。

保育施設の待機児童問題が、着実な対策によって一定の成果が表れだしている反面、こどもクラブの待機児童問題が新たな課題となってきた。

「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度からスタートし、小学校6年生までが対象にされたことなども受けて、区は平成29年に放課後対策の方針を策定。こどもクラブは受け入れ体制の充実を目指し定員数の拡大で対応し、全児童を対象とした放課後子供教室を全校で実施する対策をメインとして、今年度10校で実施している。しかし、保育ニーズは、区の想定を超えて増加し、その延長である放課後の居場所を求めるニーズも増加している。また、16時45分までの放課後子供教室では、こどもクラブニーズを吸収しきれていないことなど、昨年度は、区全体で100名を超える待機児童が生じた。

新制度スタート時の27年度と比べ、昨年度の一歳児の保育ニーズは、45.8%から69.2%と大幅に増加している。国が掲げる女性の就業率8割であることなど、保育ニーズも8割まで増加していくことは十分考えられる。今のこどもクラブの定員では、地域によっては賅いきれないのではないかと懸念されている。

放課後子供教室の整備が進めば、待機児童は一定数吸収できると考えられるが、通えるこどもクラブの選択肢は限定されているので、地域によっては、待機児童は増加していく。更なるこどもクラブの整備に向けた検討は必要。

待機児童の解消に向けては、公設に限らず、民間施設の誘致による整備や、放課後子供教室の実施時間延長等の検討が必要。今後は既存の取組みだけでなく、新たな方策を検討し、その実行計画を立案すべき、と提案。

教育長から「こどもクラブの需要は高まり、待機児童は増え続けている。既存の取組みを一層加速させるとともに、民設こどもクラブの誘致についても検討をしていく。また、放課後子供教室の時間延長についても、課題を整理していく。待機児童の解消に向けて、実効性のある緊急的な対策を速やかに取り組み、安全で安心な放課後の居場所づくりに努めていく」との答弁。

- 昭和41年6月生まれ(現在56歳)
- 浅草寺幼稚園、待乳山小(現東浅草小)、蔵前中(現浅草中)、早稲田実業高、早稲田大学第一文学部卒
- 平成元年(株)西武百貨店入社秘書部配属
- 28歳で水野誠一参議院議員第一秘書。与党政調会長秘書として国政全般を学ぶ。衆議院議員政策秘書、都議会議員政策担当を務め、国政・都政の政策立案に携わる。
- 浅草町一町会青年部長、浅草神社西部若睦連合会副会長。

- 平成23年より台東区議会議員。(現在3期)
- ◇区議会 副議長
企画総務委員会委員
環境・安全安心特別委員会委員
文化・観光特別委員会委員
- ◇会派 「つなぐプロジェクト」 幹事長

台東区議会議員 早川太郎